



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. 概要
 - 3.1. サイトツアーとは
 - 3.2. 仕様
 - 3.3. 注意事項
- 4. 開発標準・サイトツアー規約
 - 4.1. サイトツアーのメッセージを記載する観点
 - 4.2. サイトツアーの種類
 - 4.3. サイトツアーのメッセージに対する注意点
- 5. サイトツアーの利用方法
 - 5.1. 利用できる属性
 - 5.2. ヘルプドロップダウンからサイトツアーを利用する方法
 - 5.3. テーマを使わずにサイトツアーを呼び出す方法
 - 5.4. ダイアログ内でサイトツアーを利用する
- 6. ヘルプドロップダウンの設定
 - 6.1. 認可を設定する
 - 6.2. メニューの内容を変更する

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2015-04-01	初版
------------	----

はじめに

本書の目的

本書では intra-mart Accel Platform で提供するサイトツアーの仕様と、そのプログラミング方法や注意点について説明します。

対象読者

本書は次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform 上でサイトツアーを利用する開発者
- intra-mart Accel Platform 上でサイトツアーを利用する管理者

本書の構成

本書は以下のような構成となっています。

- [概要](#)
サイトツアーの仕様、注意事項について説明します。
- [開発標準・サイトツアー規約](#)
サイトツアーの開発標準、規約について説明します。
- [サイトツアーの利用方法](#)
サイトツアーを利用したプログラミング方法について説明します。
- [ヘルプドロップダウンの設定](#)
テーマに組み込まれているヘルプドロップダウンについて説明します。

項目

- [概要](#)
 - [サイトツアーとは](#)
 - [サイトツアーの種類](#)
 - [ホームURL初回アクセス時の動作について](#)
 - [仕様](#)
 - [注意事項](#)

概要

サイトツアーとは

サイトツアーとは画面内に簡易ヘルプを表示する機能です。

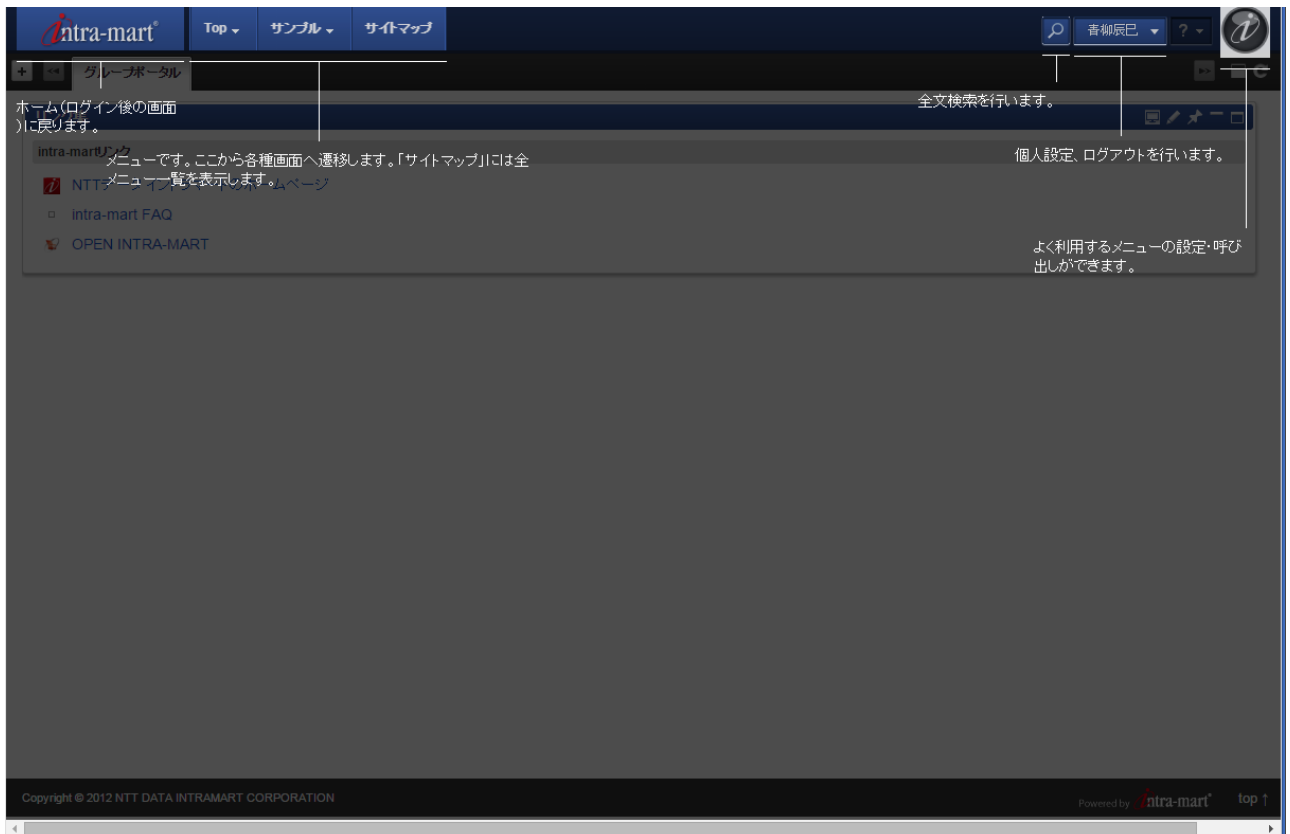
intra-mart Accel Platform で提供するテーマに埋め込まれている、ヘルプドロップダウンから呼び出すことができます。

クライアントサイド JavaScript も提供しているため、テーマの適用されていない画面でも独自に呼び出すことができます。

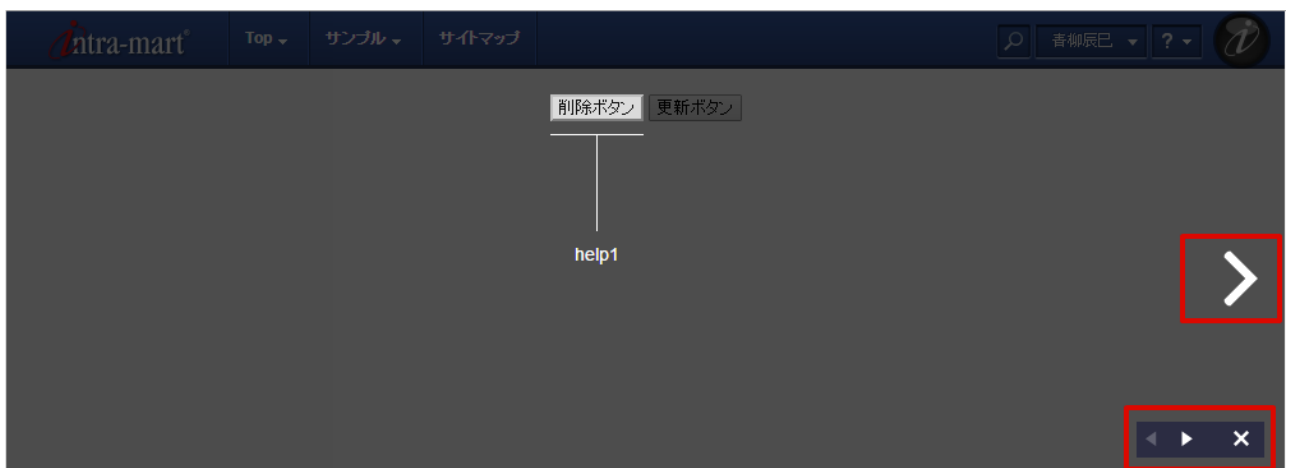
サイトツアーの種類

サイトツアーは画面内にある説明を同時に表示する一括表示と、順を追って説明を表示するステップ表示の二種類があります。

- 一括表示
 - 手順ではなく、画面内の項目を説明する場合



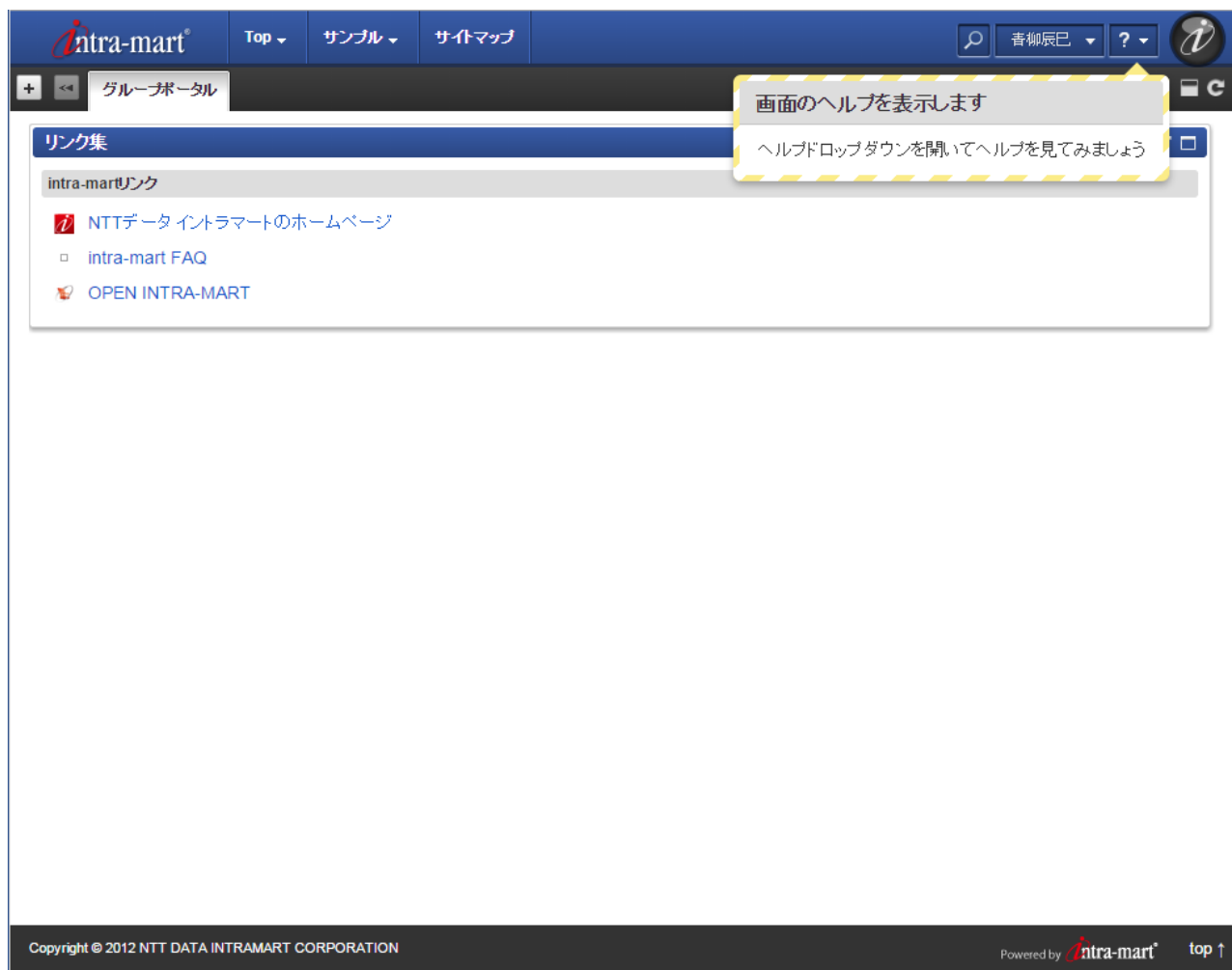
- ステップ表示
 - 説明する項目が多い場合
 - 手順を追って説明をする場合



- 上記の枠線の部分でステップの操作が行えます。

ホームURL初回アクセス時の動作について

ホームURLに登録されているURLに初めてアクセスしたとき、ヘルプドロップダウンの利用を促すメッセージが表示されます。



コラム

ホームURLに指定した画面にヘルプが埋め込まれていない場合でも、このメッセージは表示されます。

コラム

もう一度メッセージを表示したい場合は、ブラウザのクッキーを削除する必要があります。

仕様

- テーマが適用されている画面で利用することができます。
- 表示している画面内にヘルプ埋め込まれている場合に、ヘルプを呼び出すメニューが活性になります。
- ヘルプが埋め込まれていない、またはヘルプを指定している要素が非表示の場合は、ヘルプを呼び出すメニューが非活性になり、クリックすることができません。
- 画面にヘルプが埋め込まれているかどうかは、ヘルプドロップダウンにマウスを乗せるたびに確認しています。
 - そのため、初期表示時にはヘルプがなく、あとからヘルプを追加した場合でも、ヘルプを呼び出すことができます。
- サイトツアーの種類がステップ表示だった場合、右下にステップを操作するメニューが表示されます。
 - キーボード操作でも前後のステップに移動することができます。
- ダイアログ内でサイトツアーを呼び出したい場合は、特定のオプションを指定することで、ダイアログの閉じるアイコンの隣にサイトツアーを呼び出すアイコンが表示されます。
 - 詳細は後述の「[ダイアログ内でサイトツアーを利用する](#)」を参照してください。

注意事項

- フレームをまたがった説明はできません。
- 画面に複数のヘルプを同時に表示する際には、それぞれのヘルプの表示位置が重ならないように調整してください。

- そのため、複数の言語に対応する場合はそれぞれの言語で表示されることを想定した位置にヘルプを表示するように注意してください。
- 国際化対応は呼び出し側で行ってください。
 - imart type="message" や imart type="string" を利用し、プロパティファイルから取得した文字列を表示するようにしてください。
- その他の制限事項についてはリリースノートに記載されています。必ず制限事項を確認してください。

項目

- 開発標準・サイトツアー規約
 - サイトツアーのメッセージを記載する観点
 - サイトツアーの種類
 - 各要素に補足説明をする
 - 手順を示す
 - 機能ごとに説明する
 - サイトツアーのメッセージに対する注意点
 - 指針
 - 書き方
 - メッセージの保管場所

開発標準・サイトツアー規約

ここでは、intra-mart Accel Platform でのサイトツアーについての開発標準を記載します。

サイトツアーのメッセージを記載する観点

intra-mart Accel Platform では、以下の観点を基にサイトツアーを実装しています。

- ボタンやアイコン画像等にあるイベントの説明
- 複雑な操作画面に対する操作説明
- 特定の条件下のみ利用できる機能の説明
- 画面上からはわからないキーボード操作

コラム

intra-mart Accel Platform のすべての画面にサイトツアーが実装されているわけではありません。必要に応じて徐々にサイトツアーを実装していく予定です。

サイトツアーの種類

intra-mart Accel Platform ではサイトツアーを以下のように分類しています。

各要素に補足説明をする

- ボタンやアイコン画像など、直感的に操作しづらい要素に説明を追加したい場合です。
 - 一括表示を使います。
 - ボタンのラベルだけでは、どうなるのかが判断できない場合などに補足説明を記載します。
 - アイコン画像にクリックイベントが仕込まれている場合など、機能説明を記載します。

手順を示す

- 初めて画面を操作するユーザを対象にした手順を示したい場合です。
 - ステップ表示を使います。
 - 初めて操作するような画面において、どのような操作をすればよいかを促すものです。
 - 最低限の情報以外となるような画面項目の説明などは、仕様書などの別ドキュメントに記載します。
 - この手順がないと先に進めないというような最低限の情報をサイトツアーとして表示します。

機能ごとに説明する

- 画面内に説明したい要素が多く、ある程度のグループ毎に説明したい場合です。
 - ステップ表示を使います。
 - ヘッダー部分だけを一括で説明したあとに、左ペインだけを一括で説明したい場合などにグループに分けて説明を記載します。

サイトツアーのメッセージに対する注意点

サイトツアーのメッセージを実装する際の注意点は以下になります。

指針

- ドキュメントで補っている内容や、ユーザビリティが高く説明が不要な画面には説明を記載しないでください。
- 細かい仕様についての記載など、説明量が多くなる内容は記載しないでください。
 - 画面内にたくさん情報があると、逆に分かりづらさが際立ってしまうためです。

書き方

- 受動態を使わず、能動態で記載します。

- 可能な限り短文で記載します。
 - 英語や中国語などを考慮し、長文にならないようにしてください。
- 敬体で記載します。

メッセージの保管場所

- 通常画面の実装と同様に、メッセージプロパティとして設定します。
 - 多言語分を必ず設定するようにしてください。

項目

- サイトツアーの利用方法
 - 利用できる属性
 - ヘルプドリップダウンからサイトツアーを利用する方法
 - サンプルプログラム（全表示）
 - サンプルプログラム（ステップ機能）
 - テーマを使わずにサイトツアーを呼び出す方法
 - サンプルプログラム
 - ダイアログ内でサイトツアーを利用する
 - サンプルプログラム

サイトツアーの利用方法

利用できる属性

以下の属性を指定することができます。

No	属性名	省略時の値	説明
1	data-intro	必須項目	ヘルプとして実際に表示される説明文です。
2	data-escape	true	data-intro に指定した文字列をエスケープするかどうかを指定します。 エスケープをしない場合は HTML を埋め込むことができます。
3	data-position	bottom	ヘルプを表示する対象の要素から、どこの位置に説明文を表示するか指定します。 省略すると対象の要素の下に説明文が表示されます。 right,left,top,bottom の指定が可能です。
4	data-align	center	data-position に top,bottom のどちらかを指定した場合のみ有効になります 説明文の横方向の表示位置を指定します。 left (左寄せ),center (中央寄せ),right (右寄せ) の指定が可能です。
5	data-verticalAlign	top	data-position に left,right のどちらかを指定した場合のみ有効になります。 説明文の縦方向の揃え位置を指定します。 top (上揃え),middle (中央揃え),bottom (下揃え) の指定が可能です。
6	data-width	200px	説明文を表示する要素の横幅を指定します。 未指定の場合は200px になりますが、ヘルプを表示する対象の要素が200px 未満の場合は、 対象の要素の長さの横幅になります。
7	data-lineType	middle	ヘルプを表示する対象の要素と説明文表を結んでいる支持線の長さの種類を指定します。 short,middle,long の指定が可能です。 position に指定した値が top,bottom の場合は <ul style="list-style-type: none"> short (25px),middle (75px),long(150px)の長さになります。 position に指定した値が left,right の場合は <ul style="list-style-type: none"> short (50px),middle (100px),long (200px)の長さになります。
8	data-menu-position	right	ステップメニューの表示位置を指定します。 right,left の指定が可能です。 同じステップ内で別々の指定をした場合は、最初に指定した値が有効になります。
9	data-step	全表示	説明を表示する順番を数値で指定します。 同じ数値を指定した場合は、複数の説明が同時に表示されるのでグループ化としても利用できます。 未指定の要素は最後に表示されます。

The screenshot displays the Intra-mart Accel Platform interface. A table editor is visible with the following columns: '編集', 'コンテンツID', 'コンテンツ名', and '備考'. The table contains three rows of data. Red callouts highlight specific attributes being used in the interface:

- 1. data-intro: Points to the '備考' column.
- 2. data-escape: Points to the '備考' column.
- 3. data-position: Points to the '備考' column.
- 4. data-align: Points to the '備考' column.
- 5. data-verticalAlign: Points to the '備考' column.
- 6. data-width: Points to the '備考' column.
- 7. data-lineType: Points to the '備考' column.
- 8. data-menu-position: Points to the '備考' column.
- 9. data-step: Points to the '備考' column.

The status bar at the top of the editor shows: 'position=top を指定, lineType=short を指定, width=500px を指定'. The table content includes: '5i0q2uy3ge6sjlu', 'sample', 'ワークフロー', and 'sam escape=falseを指定, align=leftを指定, ここが強調文字です'.

ヘルプドロップダウンからサイトツアーを利用する方法

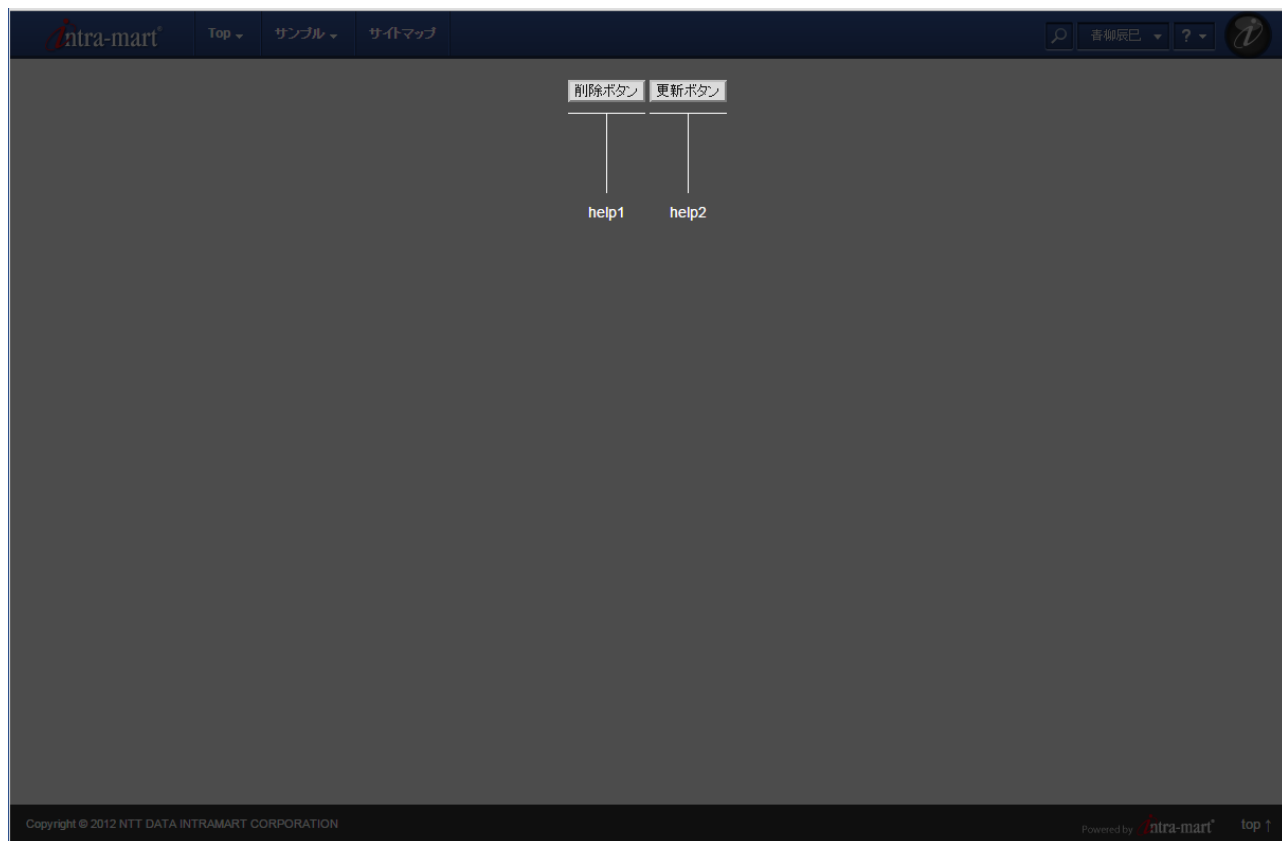
intra-mart Accel Platform 上に新たに画面を作成し、そこにヘルプを埋め込む場合、テーマを適用している画面であれば、特定の属性を記述するだけでヘルプドロップダウンからサイトツアーを利用することができます。

サンプルプログラム（全表示）

上記の属性一覧から data-intro 属性のみの指定でヘルプを呼び出すことができます。

```
<div class="imui-operation-parts">
  <button data-intro="help1">削除ボタン</button>
  <button data-intro="help2">更新ボタン</button>
</div>
```

以下のようにヘルプが表示されます。

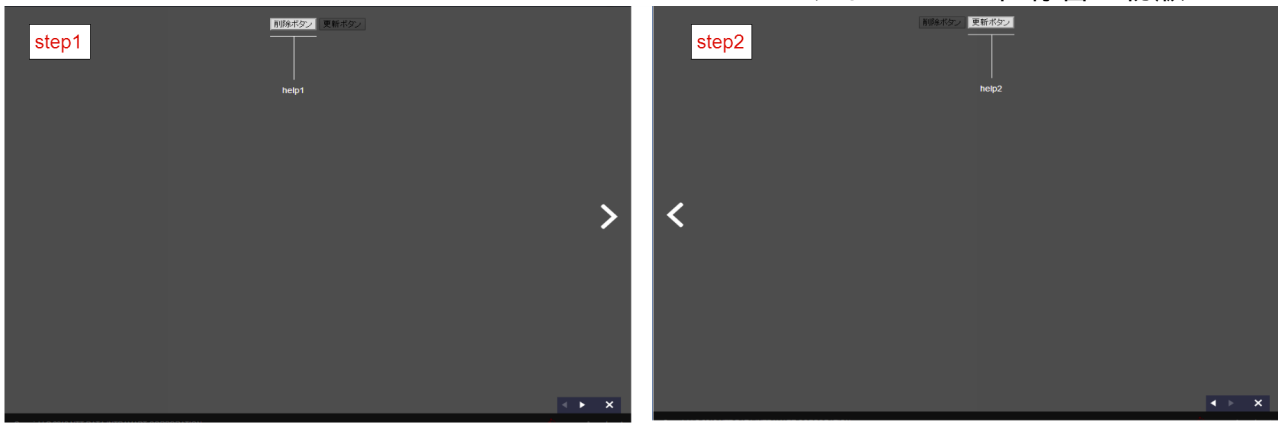


サンプルプログラム（ステップ機能）

上記の属性一覧から data-step 属性を追加で指定することでステップ機能付きのヘルプを呼び出すことができます。

```
<div class="imui-operation-parts">
  <button data-intro="help1" data-step="1">削除ボタン</button>
  <button data-intro="help2" data-step="2">更新ボタン</button>
</div>
```

以下のようにヘルプが表示されます。



テーマを使わずにサイトツアーを呼び出す方法

ヘルプドロップダウンが表示されていない画面や、テーマが適用されていない画面などでは、独自に作成した要素からサイトツアーを呼び出すことも可能です。

コラム

サイトツアーの呼び出しは **クライアントサイド JavaScript** を実行します。
クライアントサイド JavaScript の詳細は、[imuiSiteTour](#) を参照してください。

注意

ここでの「テーマが適用されていない画面」とはヘッダーが表示されていない画面を指しています。
テーマが出力する `head` は必ず読み込んでください。
[PageBuilder](#) で実装可能な画面レイアウトの種類を参考に、`head` タグが出力される [PageBuilder](#) を利用してください。

サンプルプログラム

セレクターに指定した要素内のヘルプのみ表示されます。

```
<!-- このボタンをクリックするとサイトツアーを呼び出します -->
<button id="start_help">start</button>
<div class="imui-operation-parts">
  <button data-intro="help1">削除ボタン</button>
  <button data-intro="help2">更新ボタン</button>
</div>
<a data-intro="このヘルプは表示されません">sample_a</a>

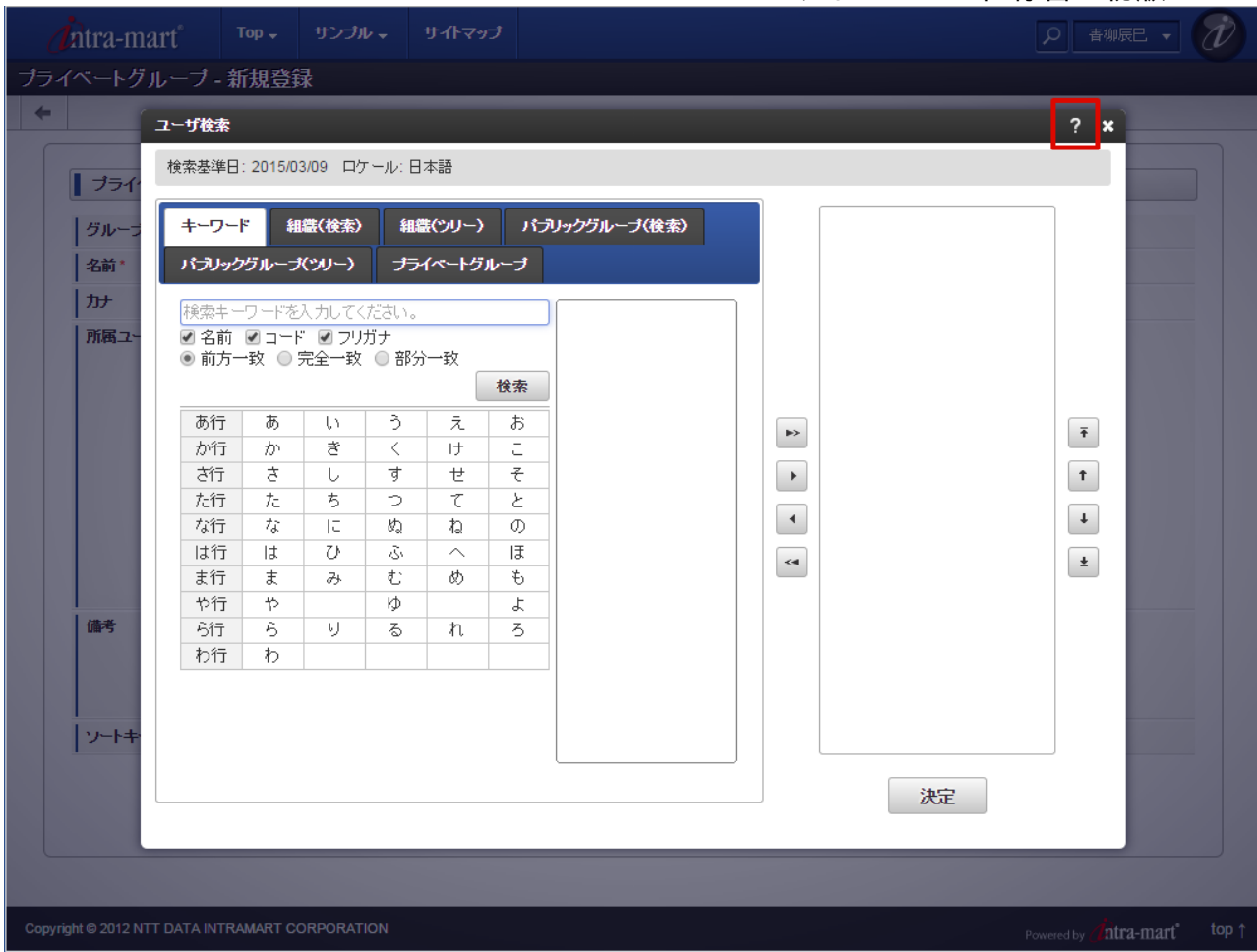
<script>
$(function(){
  $('#start_help').on('click',function(){
    // class="imui-operation-parts" 内の data-intro 属性を持つ要素のみヘルプ対象になります。
    $('.imui-operation-parts').imuiSiteTour();
  })
})
</script>
```

ダイアログ内でサイトツアーを利用する

`imuiDialog` に `useHelp` 属性を指定することで、サイトツアーを呼び出すアイコンが表示されます。

コラム

`useHelp` の詳細やダイアログの詳細については [imuiDialog](#) を参照してください。



上記の画像の赤枠の「？」アイコンをクリックすることでサイトツアーの呼び出しが行えます。

サンプルプログラム

ヘルプドロップダウンの表示・非表示はメニューグループカテゴリの認可の状態で行います。

ダイアログに表示されるヘルプアイコンも、ヘルプドロップダウンの認可状態と同様に表示したい場合は、以下のような実装を行ってください。

i コラム

ヘルプメニューのメニューグループカテゴリIDは「im_site_help_pc」です。
 サイトツアーを実行するメニューグループIDは「start_help_pc」です。
 上記を利用して、認可の状態を判断してください。

■ sample.js

```
var $useHelp;
function init(){
  var manager = new MenuGroupManager();
  // 必要なメニューグループIDは start_help_pc
  var menuId = "start_help_pc";
  // ヘルプメニューのメニューグループカテゴリは im_site_help_pc
  var menuIds = manager.getAvailableMenuGroupIds("im_site_help_pc");
  for(var index=0; index<menuIds.data.length; index++) {
    if (menuIds.data[index] == menuId) {
      $useHelp = true;
    }
  }
}
```

■ sample.html

```
<imart type="imuiDialog" useHelp=$useHelp >
  <div class="imui-operation-parts">
    <button data-intro="help1">削除ボタン</button>
    <button data-intro="help2">更新ボタン</button>
  </div>
</imart>
```

項目

- ヘルプドロップダウンの設定
 - 認可を設定する
 - メニューの内容を変更する

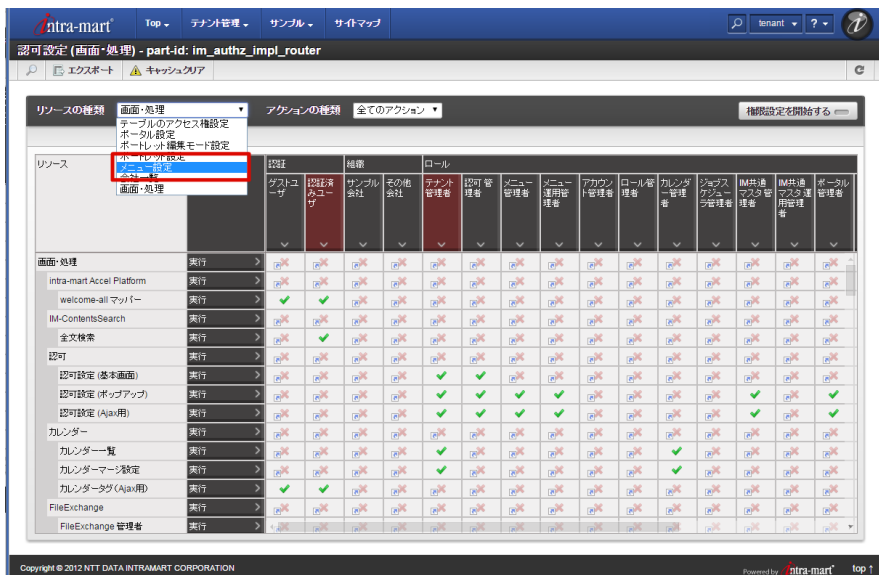
ヘルプドロップダウンの設定

ここではヘルプドロップダウンの表示・非表示方法とヘルプドロップダウンに表示しているメニューを編集する方法について記載します。

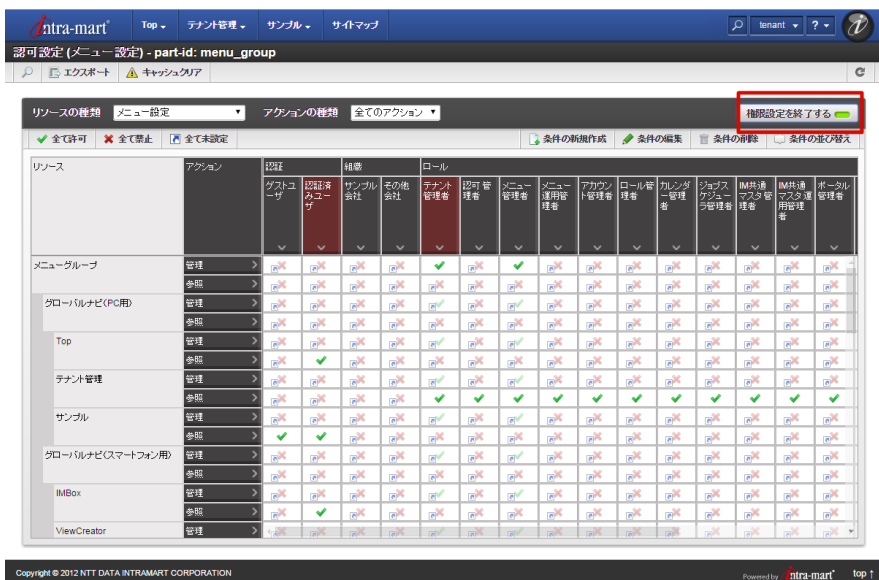
認可を設定する

ヘルプドロップダウンは認可の設定で表示・非表示を設定することができます。
以下にその手順を記載します。

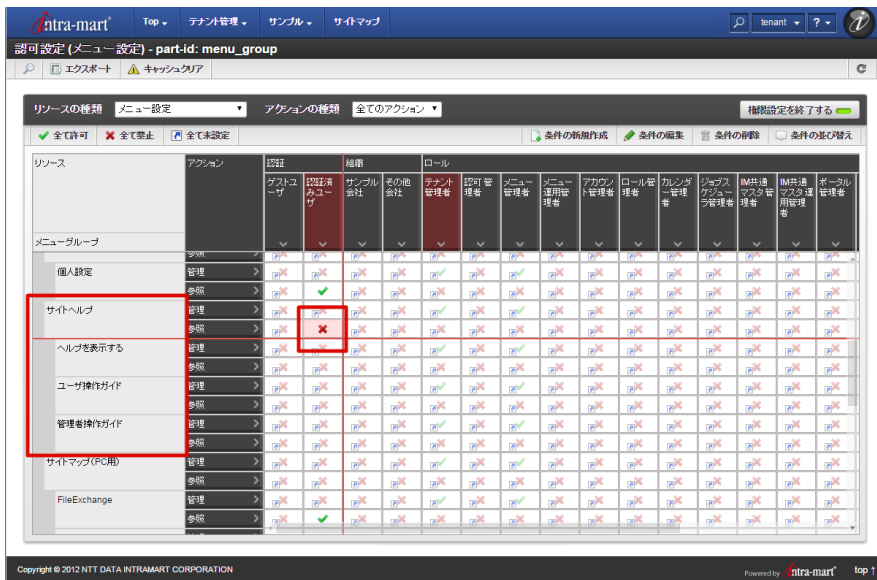
1. グローバナビから「テナント管理」→「認可」をクリックします。
2. 「リソースの種類」セレクトボックスから「メニュー設定」を選択します。



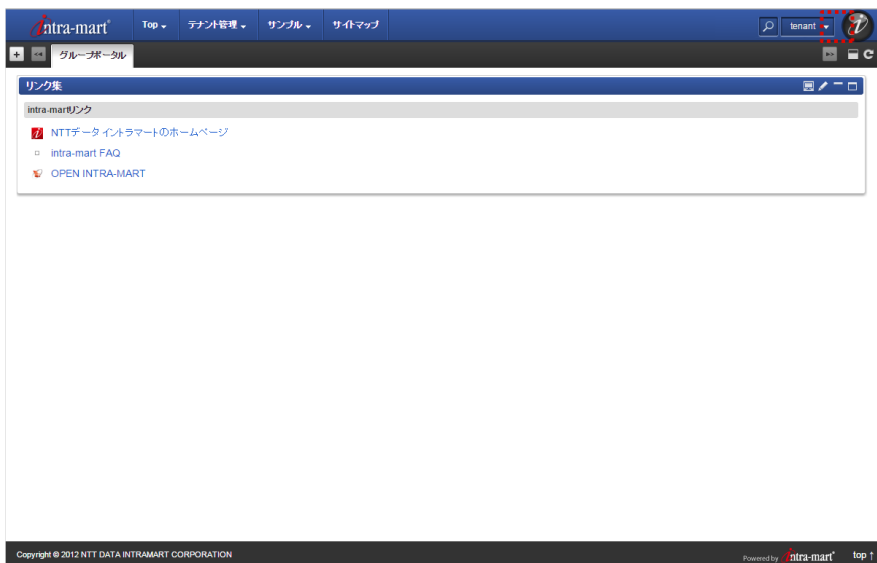
3. 「権限設定を開始する」ボタンをクリックします。



4. リソースグループ名「サイトヘルプ」配下のメニューグループに、それぞれ認可を設定することができます。
ここでは、認証済みユーザの参照に禁止を指定します。



5. ホーム画面に遷移すると、ヘルプドロップダウンが非表示になっていることが確認できます。



コラム

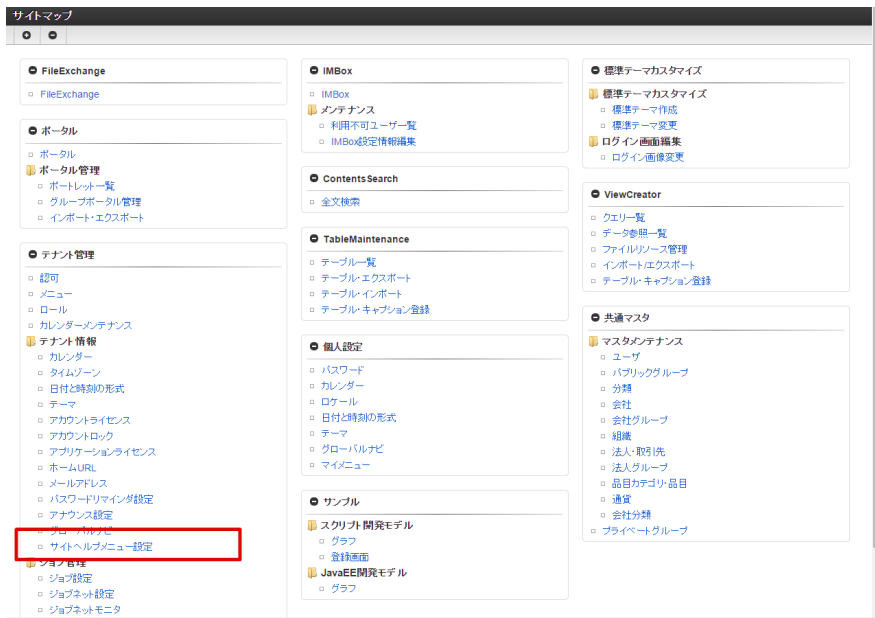
認可についての詳細は [認可を設定する](#) を参照してください。

メニューの内容を変更する

ヘルプドロップダウンに表示する内容を変更する場合は、「サイトヘルプ」メニューグループカテゴリに登録されているメニューアイテムを変更します。

以下にその手順を記載します。

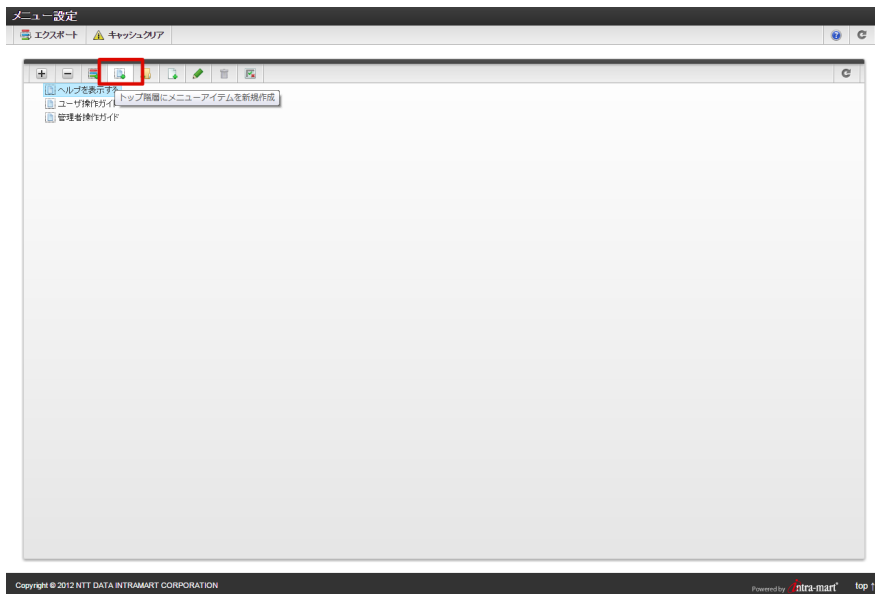
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「テナント情報」→「サイトヘルプメニュー設定」をクリックします。



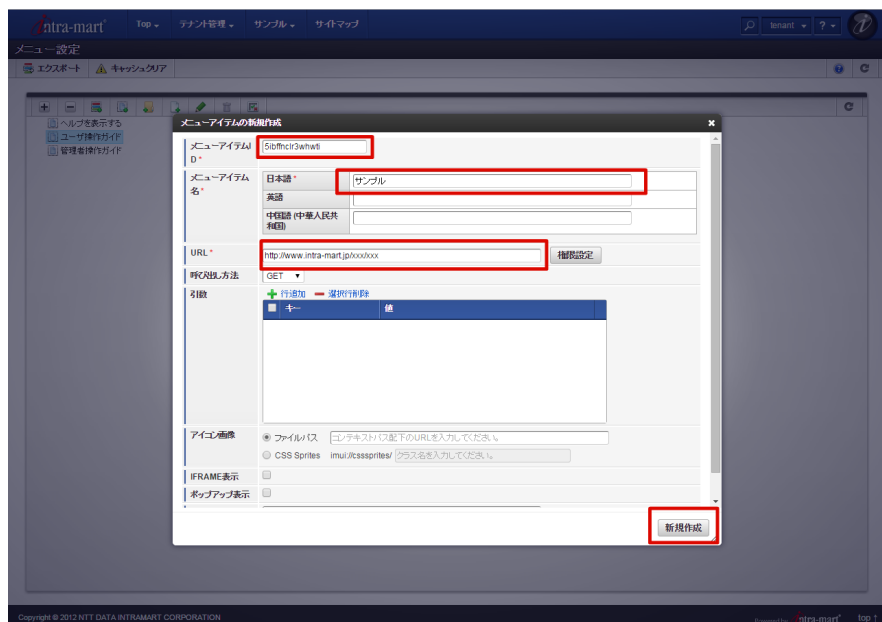
注意

「サイトマップ」→「テナント管理」→「メニュー」からでは「サイトヘルプ」メニューグループカテゴリを選択できません。サイトマップから選択してください。

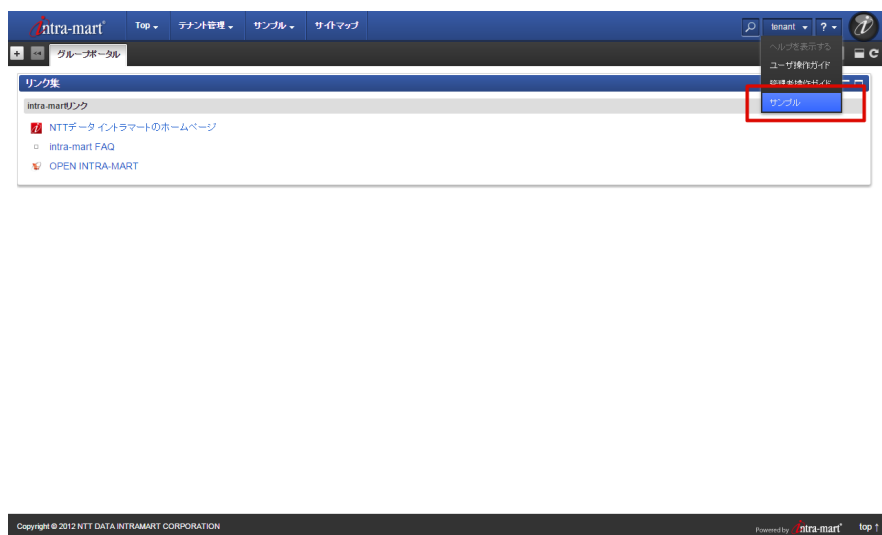
1. 「サイトヘルプ」メニューグループカテゴリのメニュー設定画面が表示されます。「トップ階層にメニューアイテムを新規作成」アイコンをクリックします。



2. 「メニューアイテムの新規作成」ダイアログが表示されます。必須項目を入力し、「新規作成」ボタンをクリックします。



3. ホーム画面に遷移し、ヘルプドロップダウンを開くと先ほど追加したメニューアイテムが表示されていることが確認できます。



コラム

メニュー画面の操作についての詳細は [メニューを設定する](#) を参照してください。

注意

ヘルプドロップダウンのメニュー編集は操作が制限されています。
以下に注意してください。

1. メニューを追加する場合は、トップ階層にメニューアイテムを新規作成してください。
メニューグループやメニューフォルダを追加しても反映されません。
2. 反映される設定は、「メニューアイテムID」「メニューアイテム名」「URL」「ポップアップ表示」だけです。他の設定は、入力しても反映されません。
3. 「ヘルプを表示する」アイテムは、既存の設定を変更しないでください。
特に「メニューアイテムID」を変更すると、簡易ヘルプ機能が動作しなくなるので注意してください。
「URL」「ポップアップ表示」は、設定しても反映されません。

